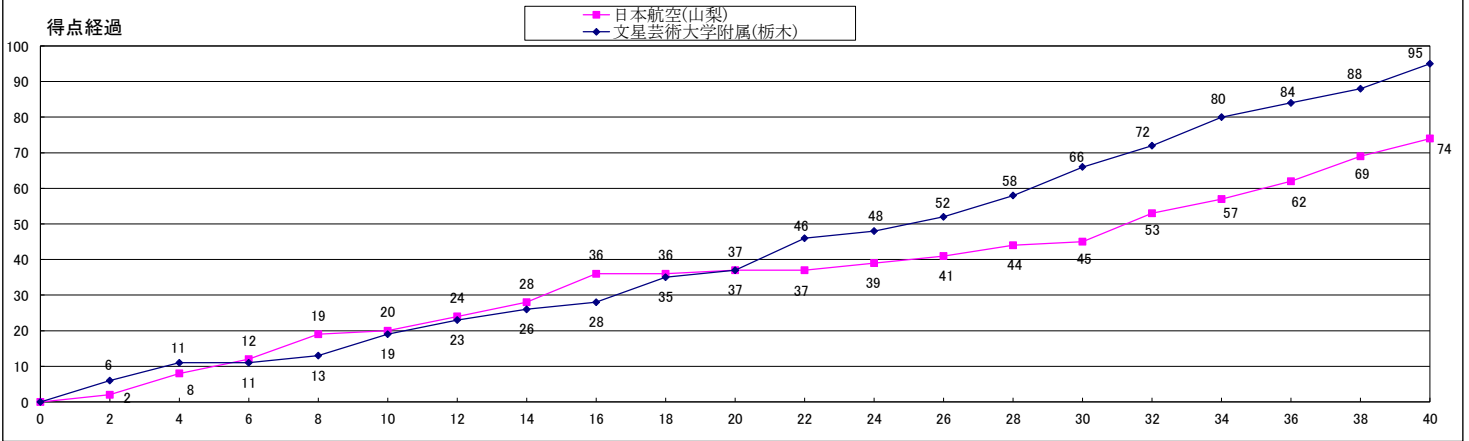


試合No.	A4	大会名	平成27年度 第26回 関東高等学校バスケットボール新人大会											
		期 日	平成28年 2月 6日(土)				会 場		小田原アリーナ					
男子1回戦		主 審	笠島 喜与都(東)				副 審		馬場 聡(神)					
		チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計		
		日本航空(山梨)				20	17	8	29			74		
		文星芸術大学附属(栃木)				19	18	29	29			95		

日本航空(山梨)																			
氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス						
阿比留 怜	* 4	14	0	1	0%	4	8	50%	6	8	75%	3	6	3	1	0	3	2	
永田 蓮	5	7	0	0		3	3	100%	1	3	33%	2	1	0	0	0	1	0	
神谷 璃空	* 6	26	6	25	24%	3	6	50%	2	4	50%	1	5	1	3	0	1	2	
瀬尾 翔	7	3	1	5	20%	0	0		0	0		1	2	1	0	0	3	0	
小石 璃音	* 8	9	0	1	0%	2	8	25%	5	6	83%	1	3	1	1	0	1	1	
後藤 涼輔	* 9	7	1	1	100%	1	3	33%	2	3	67%	1	2	3	1	0	3	2	
高橋 那央斗	10																		
勇上 ヴィンチュワ慧悟	11																		
平田 柊人	12	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	0	0	1	0	0	1	
岡田 拓弥	13																		
宮田 大倭	14	0	0	0		0	0		0	0		0	4	0	0	1	2	2	
ワン ツェンイー	* 15	8	0	0		4	8	50%	0	2	0%	3	10	0	1	1	5	3	
佐藤 颯	16																		
関 拓磨	17																		
藤本 恒	18																		
コーチ	西原 哲大																		
合計		74	8	33	24%	17	38	45%	16	26	62%	12	33	9	8	2	19	13	

文星芸術大学附属(栃木)																			
氏 名	スター ライン	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
				成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
山口 夏生	*	4	16	2	6	33%	4	11	36%	2	3	67%	3	6	0	1	1	1	4
吉川 天斗	*	5	10	0	0		4	9	44%	2	3	67%	4	3	2	1	0	3	2
野澤 亮太		6	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
大登 健太	*	7	26	0	0		13	17	76%	0	0		1	5	0	4	2	1	2
伊藤 聡志	*	8	10	0	0		5	13	38%	0	0		5	5	1	2	1	2	3
石川 修大		9	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
千葉 隆生		10	3	0	2	0%	1	2	50%	1	2	50%	0	3	0	1	0	0	2
清水 迅		11																	
菅沼 明志		12	7	0	1	0%	3	4	75%	1	2	50%	0	0	3	3	0	3	2
小倉 峻平	*	13	5	1	6	17%	1	7	14%	0	0		0	3	2	1	0	0	3
栗島 夢人		14	16	0	4	0%	7	14	50%	2	2	100%	4	1	2	2	2	1	2
池田 和樹		15	0	0	0		0	0		0	0		0	3	0	0	0	0	0
飯島 永遠		16	2	0	1	0%	1	4	25%	0	2	0%	0	1	0	1	0	0	2
針ヶ谷 豊		17																	
川上 達也		18																	
コーチ	伊藤 均																		
合 計			95	3	20	15%	39	82	48%	8	14	57%	17	31	10	16	6	11	22



戦評

1P 両チームマンツーマンで始まり、文星⑤のドライブから試合はスタート。日本航空はインサイド⑬を起点に、文星は速い展開からのランニングプレイで得点を重ね互角の展開を見せ、20ー19日本航空リードで終了。

2P 5分に日本航空⑥の連続3PTSで34ー26として突き放しにかかる。しかしそこから文星は④のドライブ、3PTSなどで反撃に移り互角の展開に持ち込み、37ー37の同点で前半終了。

3P 文星は④の連続ドライブ、3PTSで2分に46ー37と一気に点差を広げる。反撃に出たい日本航空は、速い展開からミドル、3PTS試みるが確率が上がらない。ここで文星⑦ドライブ、ミドルなどの活躍で点差を広げ、66ー45で3P終了。

4P 反撃に出たい日本航空は、オールコートバスケットにしてアップテンポの展開に持ち込む。ここで文星は速い展開のバスケットに、メンバーを交代させながらゲームをコントロールして点差を守り、74ー95で文星勝利となる。